

空の安全を

機械の力でつくる

Airport Machinery Engineer



国家公務員 一般職【技術職(機械・物理・教養)】
採用案内

国土交通省 大阪航空局
West Japan Civil Aviation Bureau

✈ 役割・使命 MISSION

航空輸送は、身近な 高速交通手段の一つとして定着し、その意義は人・文化・情報の交流と物流を支え、国内はもとより、広く海外まで広域的にカバーした信頼性とスピードを持った、グローバルな交通機関として飛躍的な発展を遂げています。

また、航空機が翼を休める空港は、地域の産業発展、地域の文化、情報交流の基盤であり、災害時などの輸送拠点としての役割も担っています。これらの役割は、充実した航空ネットワークや安全運航、定時制が確保されて機能するものです。

一方、空港周辺では、「地域との調和・融合を図り共に在りたい」をテーマとした整備も重要なものとなっています。

このような状況と未来を見据え、日本における航空機の安全運航に必要な施設の整備と定時制の確保に必要な施設の整備を行い、空港においては、輸送基盤としてのアクセスやアメニティの向上など都市機能と直結した施設の整備を図り、利用者に優しく魅力ある空港づくりを目指しています。

私たちは、「日本の空」の安全・安心の確保と、航空輸送の発展をこれからも支え続けます。

✈ 計画推進 PROMOTION PROJECT



航空の安全・安心の確保

- ① 羽田空港での航空機衝突事故を踏まえた更なる安全・安心対策の推進
- ② 令和6年能登半島地震を踏まえた防災・減災対策
- ③ 宮崎空港で発生した不発弾爆発事案を踏まえた対策



持続可能性と利便性の高い航空サービスの実現

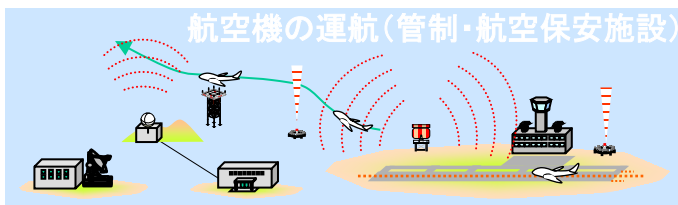
- ① 人材確保・育成等の取組の推進
 - ・グランドハンドリングにおける人材確保・育成等
 - ・保安検査の量的・質的向上の推進
 - ・操縦士・整備士の養成・確保対策
- ② FAST TRAVEL等空港業務DXの推進
 - ・FAST TRAVELの推進等
 - ・空港業務の体制強化に資する先進技術の導入促進
- ③ 空港整備事業等
 - ・国際拠点空港や地方空港等の機能強化、防災・減災・国土強靱化等
 - ・空港経営改革の推進
 - ・航空路整備事業
 - ・空港周辺環境対策事業
- ④ 地方航空路線維持・活性化の推進
- ⑤ ICAOを通じた国際連携強化



航空分野における革新技術の社会実装の推進

- ① 運航分野・空港分野における脱炭素化の推進
- ② 空飛ぶクルマ・ドローンの安全対策

✈ 機械職員の役割・業務



機械職員の技術と経験で航空輸送の安全安心を支えています

■ 機械職員の役割

空港は、滑走路や誘導路などの航空機の離着陸に必要な基本施設、旅客の乗降や貨物の積み降ろしを行う空港ターミナル施設、航空機の離着陸を援助するための航空保安施設、管制を行うための管制施設、庁舎や管制塔などの管理施設、鉄道やアクセス施設等から構成されており、これら多くの施設や設備が一体となって機能することによって安全な航空輸送を支えています。

機械職員の役割は、「**ソラのインフラサプライヤー**」、「**ソラのエナジーマネージャー**」として機械施設の管理・運用や機械施設の整備・維持管理業務を主体としつつ、空港整備計画等の企画・立案、契約制度への対応、災害対策、空港の安全監督など幅広いものとなっており、機械職員の技術と経験で航空輸送の安全安心を支えています。

■ 機械職員の主な業務

機械職員の主な業務は、国が管理する空港や管制塔・庁舎、航空保安施設に必要な機械施設に係る企画、調査、工事の設計、施工及び維持管理に関することを担当業務としています。また、国が管理する空港に配備された空港用化学消防車などの特殊車両に係る企画、調査、設計、製造及び保守に関することも担当しています。

✈ 機械施設の概要



航空無線・管制・航空灯火施設等

空港施設

機械施設

電源設備

発電設備、無停電電源設備(UPS)、場外施設等の受配電設備



空港機械設備

上水道施設、雨水排水設備、下水排水設備、トンネルジェットファンなどの機械設備



建築設備

空気調和設備、給排水設備、昇降機設備などの建築物付帯設備



特殊車両

消火救難車両、空港用除雪車などの特殊車両



航空局における機械施設は、いわゆる四力学の機械技術分野はもとより、電気、制御などの広範な技術分野の施設から構成されています。

✈ 空港機械設備

空港内の道路やアンダーパスなどの雨水排水ポンプ設備、空港内の各所へ上水を配水する設備、空港内で発生する下水を公共下水道へ排水する設備、制限区域などへの入退場ゲート設備、制限区域内への侵入者を監視する警備システム等、空港の運用や安全確保に必要な設備です。

ゲート設備



制限区域への出入りを管理する電動ゲート

空港警備システム



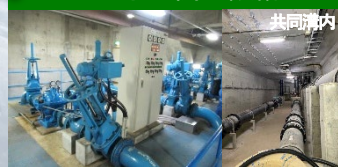
制限区域への不法侵入者を監視する警備システム

雨水排水設備



空港内の道路やアンダーパスなどの雨水排水ポンプ設備

上下水道関連設備



共同内
空港内の各所へ上水を配水する設備



マンホール内
空港内で発生する下水を公共下水道へ排水する設備

✈ 建築設備

庁舎、航空保安施設などに設置されている空気調和設備、昇降機設備、給排水衛生設備等の設備です。航空管制などに直結する機器室や運用室の空気調和設備は、安定した温度管理を行うために複数台の空調機により信頼性の高いシステムを構築しています。また、空港内の駅やターミナル間における旅客の移動に必要な設備の設置も行っています。

空気調和設備



VFR室、無線機器室、一般室などの室内環境の調整を行う設備

昇降機設備



管制塔・庁舎内の人や荷物を移動させるための設備

給排水衛生設備



管制塔・庁舎へ業務に欠かせない水を届ける設備

消火設備



火災などが発生したときに水や消火剤を用いて消火を行う設備

その他



羽田空港
ムービングサイトワーク設備

羽田空港
エスカレーター設備

✈ 空港用特殊車両

空港には、万一の航空機事故に備え空港用化学消防車、救急医療搬送車などの消火・救難車両や、積雪からいち早く滑走路等を使用可能とするために空港用除雪車両を配備しています。空港用の特殊車両は、一般用と比べて非常に大きく、また高い走行・消火・除雪性能が求められ、特に消防車は国際基準を満足する必要があります。

航空機事故が発生した際に消火活動を行うための車両。多量の水や消火薬剤等を搭載しながらも、高速性能が求められる。



ブームの伸長により、低所・高所、火元に近い箇所での消火活動が可能。

High Reach Extendable Turret Type (HRET)型



空港用消火・救難車両



夜でも100m先で本を読むことができるくらいの明るさです！

夜間における消火及び救難活動を支援する為の車両。



水8000Lおよび消火薬剤を積載しており、消防車へ送水を行うための車両。車両上部に放水銃を備えている。



救護用 TENT や医療用資器材などを運搬するための車両。医療資器材、救護用エア TENT を収納し、TENT 用のエアコンや発電機を搭載している。



空港用除雪車両

路面の雪を完全に取り除く仕上げ作業に使用する車両。ブラシを高速で回転させ、路面上の雪を掃き飛ばします。



ブラウ除雪車やスーパー除雪車による除雪作業により発生した雪堤を取り除く作業に使用する車両。



隊列で除雪します！



路面の雪を高速で跳ね飛ばし、雪を移動させる作業に使用する車両。



除雪後の路面が凍結しないように凍結防止剤を散布する作業に使用する車両。



結城 さん 平成30年度採用 地方航空局 機械課 係員

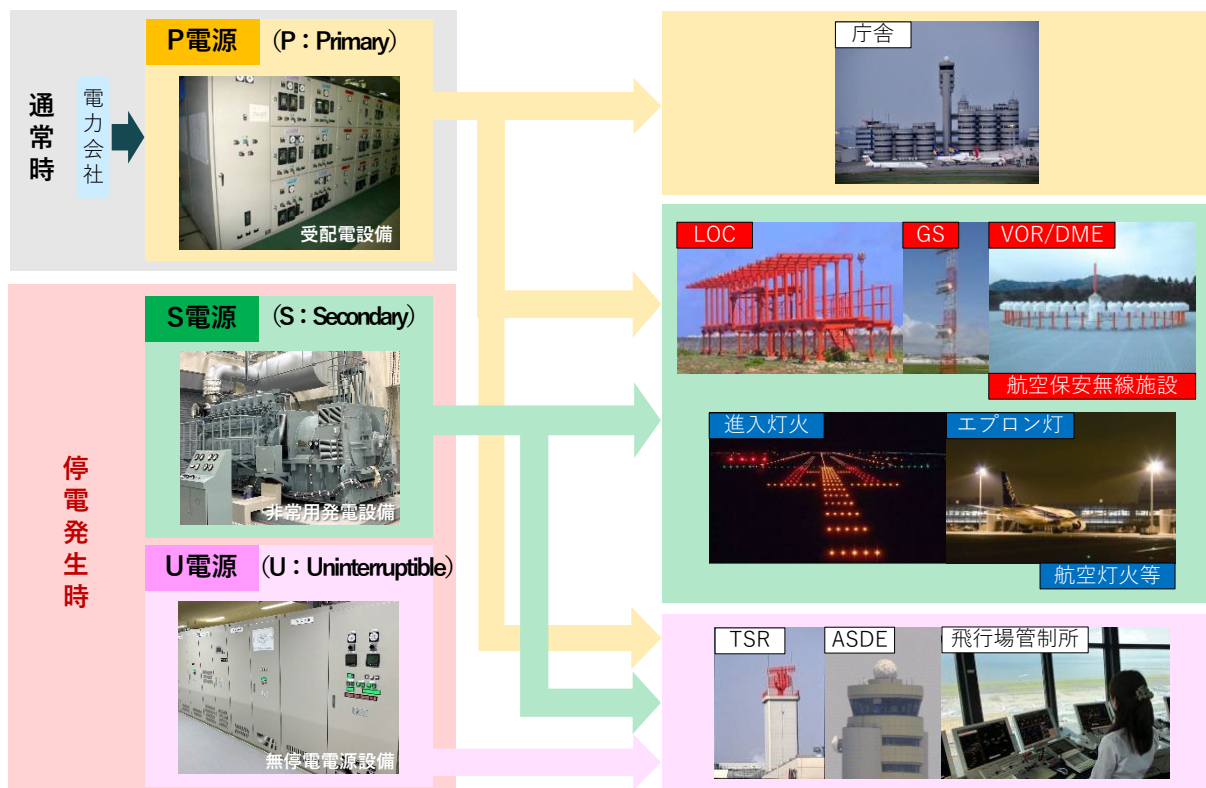
東京航空局機械課では、空気調和設備、空港用化学消防車、侵入警戒システムなどの発注・設計・工事業務を行っております。近年では、空港制限区域内での自動運転化実現に向けた共通インフラ整備にも携わっております。

様々な設備に携わることから、まず機能を理解することから始めるため、業務上苦労する場面もありますが、苦労した結果は空港内を見渡すと様々な部分で見られますので、その際は特にやりがいを感じます。

✈ 電源設備

空港や航空保安施設の電力供給がストップするとその機能はマヒし、大混乱となります。そのため、空港などには非常用発電設備を備えています。また、管制情報処理システムなどの電算システムは、一瞬の停電も許されないため、無停電電源設備(UPS)を介して無瞬断の電源を供給しています。

航空保安施設用の電源設備は、国際基準や航空法に基づき、信頼性の高いシステムが求められています。



発電設備



商用電源停電後10秒または15秒以内に、非常用発電設備が起動し、各設備に必要な電力を供給します。

発電設備は、1回の給油で72時間稼働することが可能です。

航空局で仕様を決め、1台ずつ製造を行っています。

各施設に様々なサイズの発電設備を設置し、維持管理をしています。

発電設備の冷却水の熱交換を行います！



屋内だけでなく、屋外にも地下燃料タンクを設置しています！

詳しくはこちら！



空の安全を守る

ツバサノシゴト
TSUBASA no SHIGOTO



動画で見る！
発電設備の役割、稼働状況

無停電電源設備



無停電電源設備にはバッテリーが搭載されており、停電時においても常時安定した電力を供給することができます。

瞬間的な停電も許されない、レーダーや通信装置、コンピュータ等に利用される。

Uninterruptible

Power

Supply

UPSと呼んでいます。



可搬形電源設備



自然災害をはじめ航空保安施設等における電源障害時の電源確保のため展開される運搬が容易な発電設備。



トラックに載せて
各地へ運搬します！

実際の展開状況（東日本大震災における仙台空港）



庁舎に設置されている発電設備は
津波による被災で使用できず...



可搬形発電設備を設置



空港の運用に必要な電源を確保

島田 さん 平成29年度採用 地方航空局 交通管制機械システム室 係長

停電が起きた際に使用する、非常用発電設備や無停電電源設備などの予備電源設備の設計・製造・工事発注を行っています。

もしも空港が停電すると、無線施設やレーダー施設が停止し、管制官との通信ができなくなるため、離着陸時の安全が確保できなくなります。また、滑走路の照明も消え、夜間の離着陸が困難になり航空機の運航に大きな影響が出ますので予備電源設備は航空において非常に重要です。

設備の整備は空港や航空機の運航に影響を与えずに実施しなければならず大変なことも多いですが、新しくなった設備をみればやり遂げた達成感を味わうことができます。



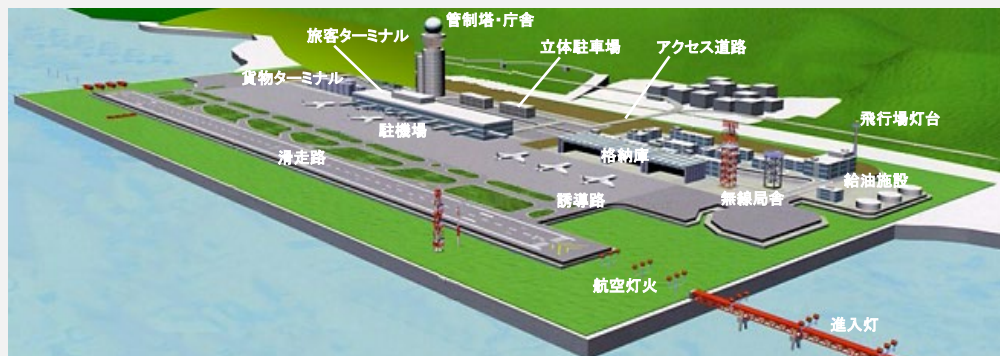
✈ 機械業務の経験を生かした業務

空港整備計画等の企画・立案、契約制度への対応、災害対策、空港の安全監督など、機械業務で身につけた知識・経験を生かして、航空局が担う様々な役割・業務に従事することがあります。とりわけ、空港の運用に係る省力化・自動化や、航空輸送の脱炭素の推進、空港の防災・減災対策など新たな行政ニーズへの対応が求められています。

また、空港分野におけるインフラの国際展開や諸外国の空港建設・維持管理にかかる技術協力などに従事することもあります。



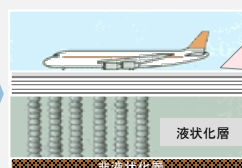
空港整備計画業務や新たな行政ニーズへの対応



カーボンニュートラル (脱炭素化の推進)



空港の防災・減災、 国土強靱化、耐災害性対策



液状化層の
地盤改良対
策により
舗装の破損
を防止

液状化対策



排水機能の強化



護岸嵩上げ



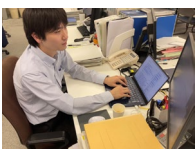
天野さん

平成26年度採用

地方航空局 脱炭素化推進室
空港脱炭素企画係長

2030年目標のCO2排出量46%減のためには、羽田空港だけで23万トンから13万トンへ約10万トンも減らす必要があります。だいたいCO2 1トンは25mプール1つ分位ですから、25mプール10万個分！のCO2を削減する必要があります。ちょっと高い目標に思われますが、そのためにこれから空港の電気を太陽光発電に置き換えたり、その太陽光発電で作った電気でEV車を動かすようにして、なんとか目標達成できるように計画を立てていくのが今の私の仕事です。

魅力の一つとしてはなんといってもその規模の大きさでしょう。海外有名企業を含む民間企業からも技術提案を頂くなど、本当に様々な経験ができます。規模の大きい仕事だからこそ、自分の業務にやりがいを感じることができ、それが魅力につながっていると感じます。



東野さん

令和2年度採用

地方航空局 空港企画調整課 係員

主に東京国際空港の整備事業に関する調整業務とそれに伴う事務作業を行っています。

事業内容は現状の航空業界が抱える課題の解決に直接資するものであり、事業範囲、金額、期間、関係者の数などの面で規模の大きい案件に携わることとなるため、やりがいを実感しやすいことが魅力です。

調整先、調整内容、必要な手続き等が多岐にわたるため、調整事項の要点を捉えた上で適切に業務を進めることの難しさを感じています。

空港業務DX 制限区域での自動運転の実現

機械職で整備する共通インフラの種類



ランプバス



トイングトラクター



自動運転技術



搬送作業の無人化
人が必要な作業に注力

2025(令和7)年までに空港内における自動運転レベル4相当の導入を目標としており、機械職では必要なインフラ設備の整備を行っています。本省では、整備後の設備の安定した運用を行うために地方航空局や空港事務所等と調整しながら、維持管理にかかる要領の策定作業を進めています。

国内空港初のインフラ整備のため、新たな技術を取り扱うために日々勉強ですが、自分自身も成長することができ、航空業界の最前線で活躍することができます。

このインフラ整備は、今後の空港での自動運転車両の交通手段において、ベースとなる可能性を秘めており、その一端を担えることが魅力です。



拝根 さん 平成26年度採用
航空局 空港技術課 機械施設係長



工事の品質確保などへの対応



建築設備検査状況



発電設備検査状況



特殊車両検査状況

機械施設の新設や更新に係る設計や工事などの入札及び契約の技術的な事項に係る審査、工事の品質確保、工事完了後の完成検査を実施します。



交通管制・空港の安全確保、航空保安(セキュリティ)への対応



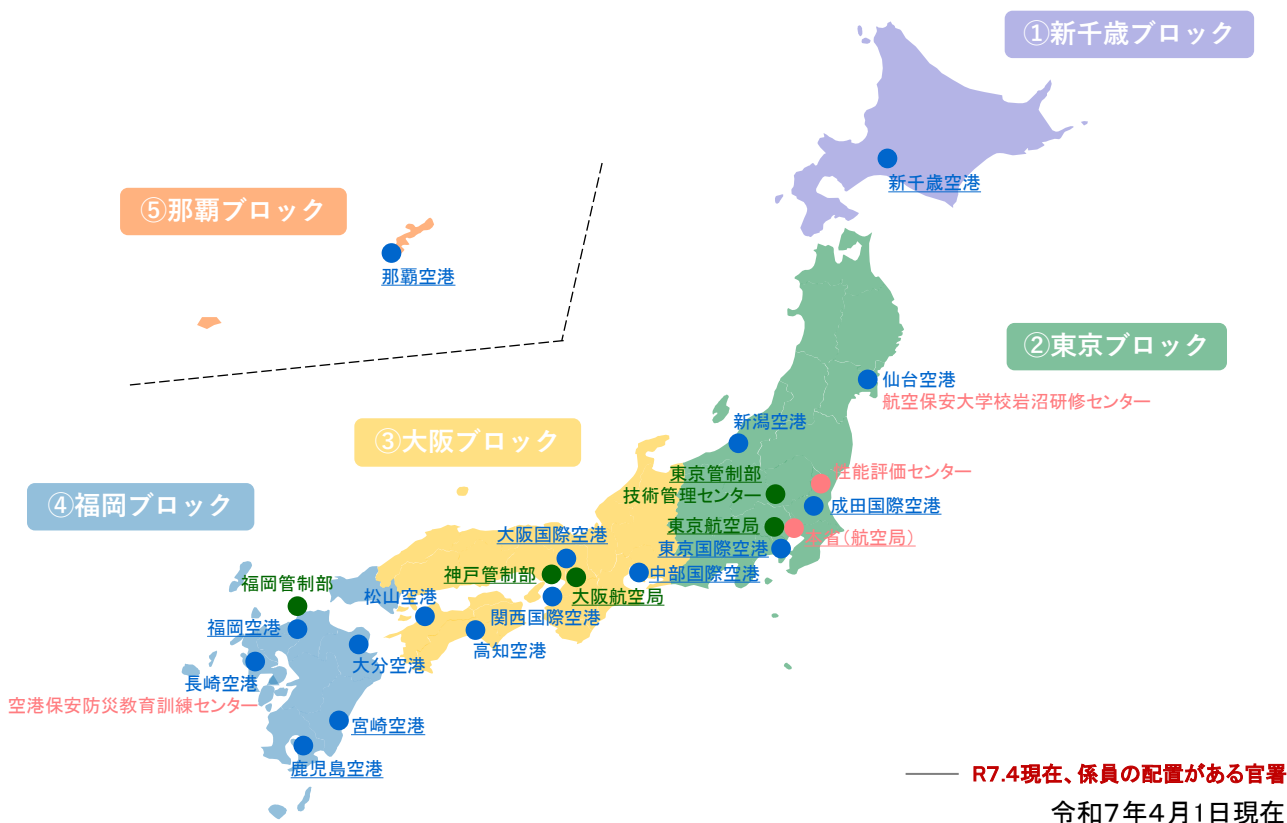
安全監督機関(レギュレータ)として、航空局機械職員が行う交通管制機械業務や、航空局・会社・地方自治体などの空港管理者が実施する空港管理業務に対する安全監督(安全監査など)、またハイジャックや航空機を用いたテロを未然に防止するための航空保安監査などを実施します。

✈ 航空局の組織と機械職員が勤務する職場

国土交通省航空局には、5つの地方支分部局があり、地方航空局には空港事務所などの出先機関があります。

とりわけ、航空交通管制部や空港事務所などでは、航空輸送の現場として航空の安全確保を最優先課題としつつ、航空サービスの向上を目指して日々、業務を行っています。

航空局は、空港をはじめとして様々な職場が全国に点在し、機械職員が配置されている地域も、北は北海道千歳市から、南は沖縄県那覇市までの広範囲にわたっていますので、採用にあたっては全国異動ができることが条件となります。



全国に点在する機械施設の管理は、5ブロックに区割りされた各管理センターにより行われています。

各管理センターには、機械施設を遠隔で監視・制御を可能とする装置(通称MAPS)を設置し、リアルタイムで機械施設の状態、故障の有無等の把握、故障の予知・診断をも可能としています。

管理センターの勤務は、24時間の監視業務のため3直4交代制のシフト勤務となり、一定の要件を満たした機械職員が従事します。よって、採用にあたってはシフト勤務(夜勤)ができることが条件となります。

状態監視

機械施設の運転状況を24時間、常に監視し運用状況を的確に把握します。

制御

MAPSを活用し、一部機械施設を遠隔操作します。

信頼性技術管理

監視と制御をスムーズに行うため、施設の多彩なデータを管理し、更にデータを解析することで、障害発生を防止したり、万一故障した場合でも最短の処理方法に基づいて復旧を行います。

機械施設監視室



勤務状況



✈ 組織別の主な役割・仕事

機械職員の役割や業務は組織により異なり、空港や航空輸送に必要な機械施設を専門分野の技術で技術基準の策定、予算要求、調査・計画、建設、運用、維持管理までを一元的に対応しています。

本省 (国土交通省 航空局)

予算要求
関係法令、技術基準制定
国会対応



航空行政を担う中央組織であり、「事業の企画・調査」、「予算要求」及び「機械施設や特殊車両の共通仕様、積算基準、業務処理規定類などの基準類の制定」、「研修の企画」、「国会対応」、「各種会議及び委員会の開催」等を行っています。

地方航空局 (東京航空局・大阪航空局)

予算要求
施設の新設・更新等



管内空港や航空保安施設に必要な機械施設の新設・更新工事や特殊車両の製造などの発注、監督、検査などを行っています。

各空港事務所 各航空交通管制部

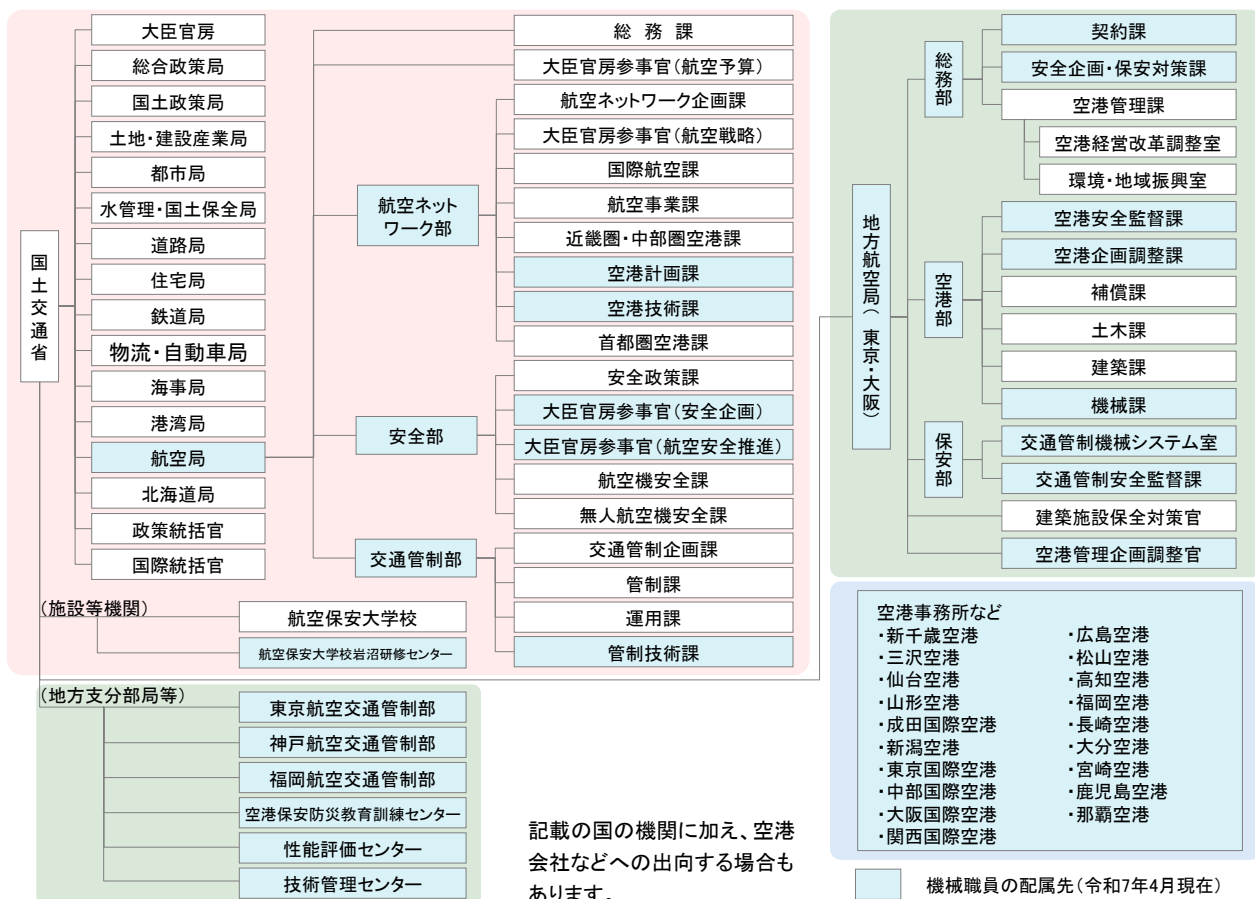
運用
維持管理



当該空港及び管轄する空港や航空保安施設に必要な機械施設などの運用・維持管理を行っています。維持管理については、保守業務等を業者へ発注するための仕様書作成や積算業務、発注後の受注者への監督・検査などの業務を行っています。

また、地方航空局が発注した工事の現地監督も行います。

✈ 機械職員の配属先



✈ 仕事の流れ（工事、製造、点検整備など）

- **調査・計画** 機械施設の新設や更新工事、保守を行うための調査、スケジュール調整、関係者との調整を行い計画を策定します。
- **設計** 機械施設の工事や保守を行うための仕様などについて設計検討し、仕様書や発注図面を作成します。
- **積算** 工事や保守を行うための適正な費用について算出します
- **契約手続き** 工事や保守を実施するため、専門業者と契約を結ぶ手続きを行います。
- **監督** 工事や保守が適切に行われるように受注者への指導、関係者等の調整、提出された書類の確認などの監督業務を実施します。
- **検査** 工事や保守が適切に行われたか検査を実施します。
- **完成（完了）**



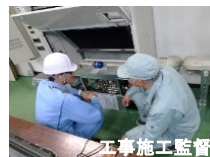
計画会議



設計・積算業務



設計現地調査



工事施工監督



消防車性能試験



点検整備監督



製造工場検査



工事完成検査

✈ ある日の仕事の様子



佐藤 さん 令和4年度採用
空港事務所 施設運用管理官

交通管制業務用の機械施設等を適切に運用するための保守業務や、各種設備の更新工事における監督業務を主に担当しています。
業務の中で感じた不明点や疑問点は上司や先輩方に相談やアドバイスをいただき、日々理解を深めながら業務に取り組んでいます。

🕒 佐藤さんの1日（空港事務所勤務 入省4年目）



☀ 日中の業務



修理発注のための仕様書・積算作成



保全業務受注者との監督打合せ

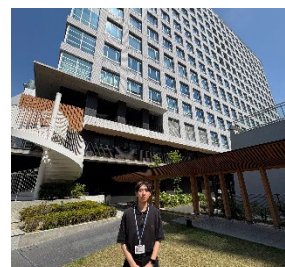


工事監督（試験立会い）

🌙 定期に行われる夜間立会業務



空港運用終了後に実施する機械設点検業務（停電作業）の立会い
※保守点検繁忙月に1～2回程度



宇田 さん 令和6年度採用
地方航空局 機械課 係員

交通管制業務用空調設備の更新工事及び工事実施設計における監督業務を主に担当しています。
半年から一年をかけた長期の業務が多く責任は重いですが、日々成長を感じながら仕事に取り組んでいます。

🕒 宇田さんの1日（地方航空局勤務 係員 入省2年目）



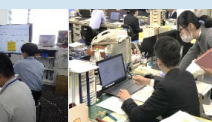
☀ 日中の業務



設計会社が作成した工事の設計図、積算の内容確認



工事受注者との施工計画打ち合わせ



係員同士での情報共有



係長へ設計内容説明

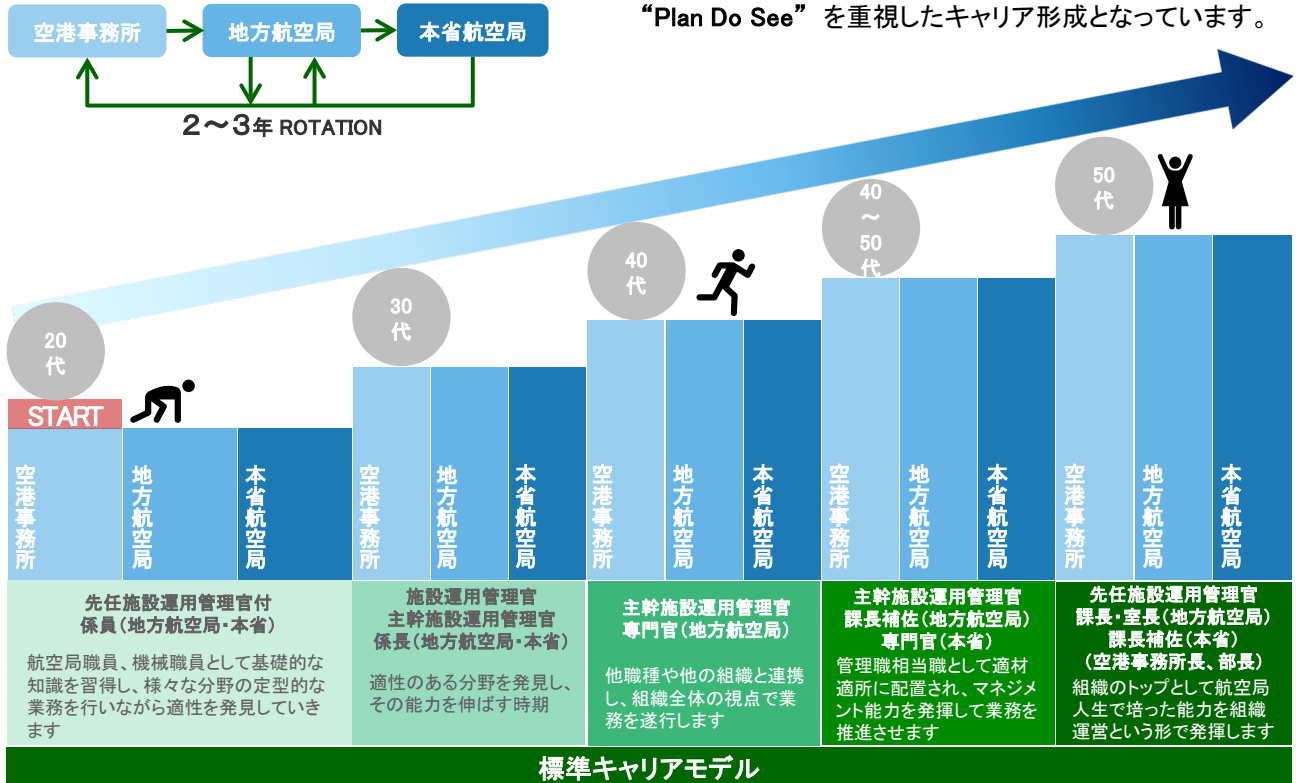
✈ 管内空港等へ出張して行う業務



実施設計現地調査や工事説明会の開催、工事の監督（施工確認）

✈ キャリアプラン

◎役割・業務内容、地域・規模など様々な観点で経験する
“Plan Do See” を重視したキャリア形成となっています。



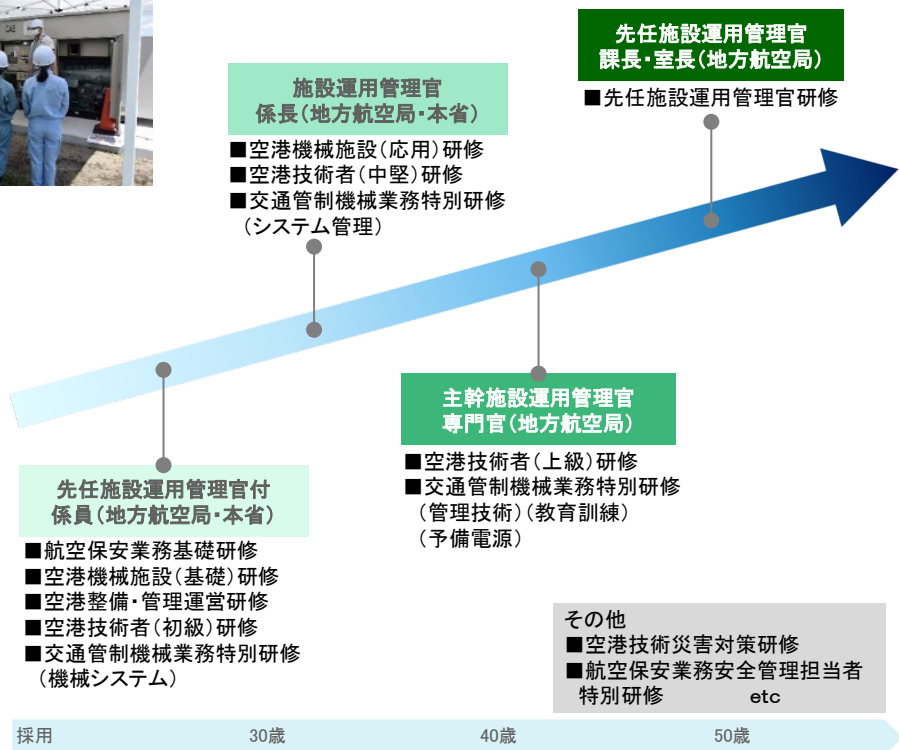
✈ キャリアパスと研修



機械職員には工学的基礎知識や機械業務の専門知識・技能に加え、空港や航空管制に関する知識など、「幅広い知識」、「専門的技能」、「安全を優先する姿勢」などのスキルが必要となります。また、国家公務員としての公務員倫理や役職に応じたマネジメント能力の習得も必要です。

そのため、こうした必要なコンピテンシー(「知識」や「技能」、「姿勢」)を習得できるよう、世代別・業務別・役職別に様々な研修を設けています。

こうした研修は、宮城県岩沼市の「航空保安大学校岩沼研修センター」や千葉県柏市の「国土交通大学校柏研修センター」などで実施しています。





桑田 さん
令和5年度採用
空港事務所 施設運用管理官

✦志望理由は？

私の地元は交通機関が少なく不便なこともあり、インフラの整備に携わりたいと考えていました。特に空港は国内外のたくさんの人が利用する交通機関であり、より安心安全な環境が求められると考え、空港の維持管理を行う職員になりたいと思い志望しました。

✦現在の業務内容・やりがい・魅力は？

発電設備、無停電電源設備等の遠隔監視業務や、車両の点検・修理の発注業務等を担当しています。

また、最近では、大規模災害等を想定した、非常用管制塔展開訓練にも参加しました。電源(発電)装置を実際に操作し有事を想定した取り扱いについて経験することができました。

✦採用される前と後のギャップは？

機械施設等の点検は、業者に発注しており、実際に職員が作業することは少ないことです。私たちの役割は、発注した作業について、適切に実施されているか確認することであり、監督職員としてのスキルが求められます。そのため機械施設についての知識を幅広く学ぶ必要があります。



✦志望理由は？

幼い頃から航空機が好きで、将来は航空機に携わる仕事に就きたいと考えていました。

✦やりがい・魅力は？

空気調和設備工事では、工事会社の責任者と施設の運用に影響を与えず、事故なく施工を行うための調整をしたり、提出された工事書類の内容や施工状況が仕様書や図面と一致しているか現地に赴き確認したりと、先輩たちの助言や協力もあり、色々な経験を積むことができました。

✦関東の生活はどうですか？

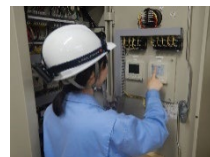
関東の生活は交通機関もお店も充実しているため、すぐに一人暮らしに慣れることができました。友人とフェスに行ったり、食べ歩きをしたりしています。最近では夕方の涼しい時間帯に散歩することにはまっています。歩ける距離にいろいろなものがあるのでとても楽しいです！

✦東京航空局を目指す後輩の皆さんへ

私たちの仕事は、航空保安の安全・安心に大きく貢献しています。皆さんも空港職員の一人となって空の安全・安心を支えましょう！



高橋 さん
令和6年度採用
空港事務所 施設運用管理官



”好き”から始める、
”責任ある仕事”



浅房 さん
平成28年度採用
空港事務所 施設運用管理官

✦航空局への志望理由は？

実家が空港から近いこともあり、小さい頃によく飛行機を見に行っていましたので、空港に親しみを感じてました。

また、大学で学んだ知識を活かせ、且つ、空港に関わる航空局を志望しました。

✦今後の目標は？

これからは今までの機械設備や電源設備の知識のみならず、脱炭素や自動化技術など新たな難しい課題への対応が空港にも求められます。

このような課題に対応できるよう、これまでの知識や経験を活かし、空港行政に貢献できるようになりたいです。



✦航空局を目指す皆さんへ

航空局の業務は一般の人にはあまり知られていないことが多いかと思いますが、航空輸送の安全を陰ながら支えている魅力ある仕事です。

日本の空を支えられるように皆様とともに働けることをお待ちしております！

✦現在の業務内容・やりがい・魅力は？

地方航空局では、空港事務所での維持業務とは違い、空港事務所や無線施設に設置されている古い空気調和設備を更新するための業務を行っています。

更新工事のための設計から設備更新完了までの業務を行う中で、現場だけでは知り得ることができなかった空気調和設備の構造や更新工事における基礎的な知識を取り入れることができます。

勤務はまだ短いですが、自分が担当する設備が今後の施設運用に関わり、支えて行くのだと考ええるとやりがいを感じます。

✦転勤はどうですか？

航空局は転勤が多く引越などは大変ですが、転勤することで携わったことが無い工事や点検作業などで経験を積み、自分の能力を高め、活躍の場を広めることができます。

プライベートな面では、その土地ならではの観光スポットやイベント事に参加できるなど、良いと感じる面も多いです。



福島 さん
平成28年度採用
地方航空局 機械課



職場以外での交流



機械職有志でチームを組み、CAB野球大会に出場しました！仕事と違った一面を見ることができ、とてもおもしろいです！



求める人材

機械職は、技術的知見を活かし航空輸送の発展、安全・安心に貢献することに取り組んでおり、そのために技術力とともに以下のスキルを習得することを目指しています。



01 コミュニケーション能力

～航空局ならではの多様な職種の間と協調できる～

業務を円滑に進めるためには、航空局内の専門性が高い多様な職種はもとより、関係機関や工事受注者などとのコミュニケーションが重要となります。

02 前向き力

～マネジメント力を生かし、どのような仕事にもポジティブに取り組む～

業務を進めるにおいては、様々な課題を解決する必要があり、上司や同僚と相談・協力しながら、マネジメント力を生かして仕事を前に進めていくことが重要となります。

03 応用力

～変化する状況に迅速に対応できる～

航空を取り巻く環境や行政ニーズは日々変化しており、これに的確に対応することが重要になります。また発生する課題や施設のトラブルなどに対して、冷静・的確・迅速に対応することが重要となります。



FAQ よくある質問

Q1 必須となる知識や資格はありますか？

機械職では幅広い施設や業務に携わりますので、機械工学などの技術的基礎知識に加えて、空港や航空管制などに関する知識を身につけ、活かす必要があります。

こうした知識は、採用後に研修機関における専門研修や先輩による現場OJT、日常の業務経験により身につけることが可能です。

先輩職員でも、学生時代に機械工学を専攻していない人が多数活躍しています。

また、必須となる技術的資格はありませんが、基礎的知識を身につけるために、機械、電気、危険物などの資格取得を奨励しています。

Q2 転勤について教えてください

各地の空港事務所や地方航空局、本省航空局などが勤務地になりますので、転勤先によっては転居を伴う場合があります。

転勤は概ね2～3年ごとにありますが、定期的に勤務地及び職務に関する希望を提出することや面談を通じて、個人のキャリアパスやライフプランにも考慮しつつ異動を計画しています。

職員の中でも、採用時には転勤に対する不安をもった方もいますが、いざ転勤すると「地域の食や文化の魅力を楽しむことができた」、「交友関係が広まった」などの肯定的な感想も聞かれます。また、各地の勤務先に宿舍があり、入居も可能です。

Q3 勤務時間はどうなっていますか？

1日の勤務時間は7時間45分です。

土日・祝日が休日となります。

勤務時間は原則8時30分～17時15分(昼休1時間)、本省や地方航空などでは勤務時間(9時00分～17時45分など)を選択できる官署もあります。

空港事務所の勤務において、施設の点検を空港の運用や航空機の運航への影響を考慮して夜間を実施するため、これに立ち会う場合があります。

また、空港事務所の一部の職員は24時間の交替制勤務で業務を行っています。

Q4 残業はありますか？

機械施設に不具合が発生した場合や、工事や保守点検などの発注繁忙期などにおいて、勤務時間を超えて残業となる場合があります。

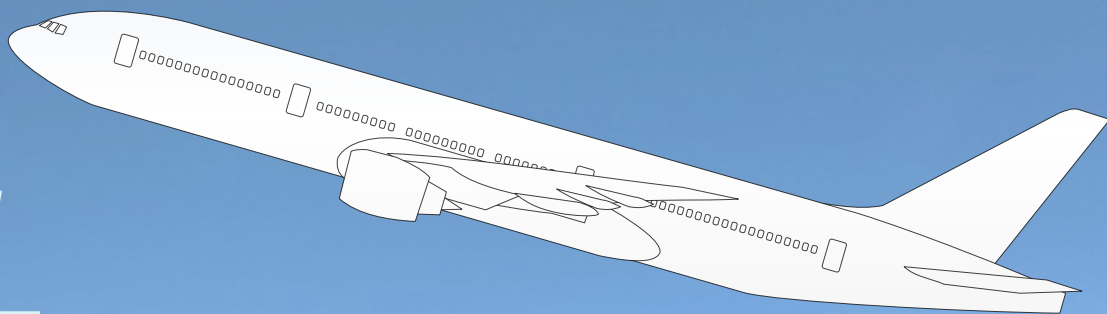
航空輸送の安全を担う職責を持つ業務ですので、こうした残業は発生しますが、航空局では「ワークライフバランスの推進」に積極的に取り組んでおり、業務の効率化による超過勤務削減とともに、ポジティブオフ(月1回の有給休暇取得)や1週間以上の長期休暇の取得推進(夏季)など、メリハリのある働き方に取り組んでいます。

Q5 ワークライフバランス(WLB)の推進について

航空局では、WLBを考慮したキャリア形成、育児・介護等の両立及び女性職員の採用・活躍を支援する共に、業務の効率化などの働き方改革を推進し、職員が生活を楽しみ仕事と家庭を両立しやすくなるよう「ワークバランスの推進」に取り組んでいます。



”空港の裏側”を選んだ君が、未来を変える



パンフレットの内容、採用等に関して不明な点がございましたら
ご遠慮なく下記までお問い合わせ下さい。

CIVIL AVIATION BUREAU

国土交通省 大阪航空局

空港部 機械課 採用担当 課長補佐

Tel 06-6937-2735

E-mail cab-saiyou.kikai@ki.mlit.go.jp

※メールでのお問い合わせの場合、下記内容の
記載をお願いいたします。

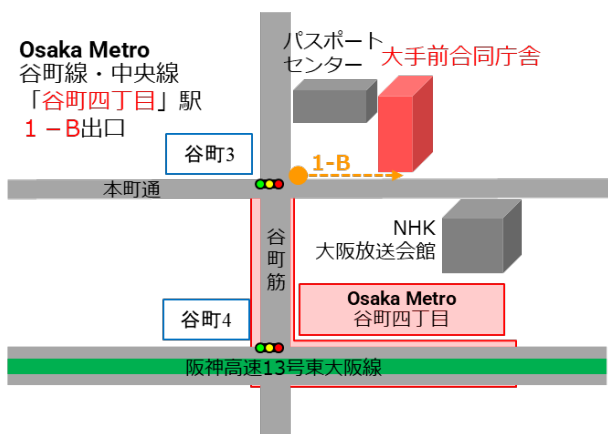
- ①お名前（ふりがな）
- ②お電話番号（ご自宅・携帯）
- ③お問い合わせ内容

※お問い合わせ頂いた内容は、当局の掲げる個人情報保護方針に沿って管理し、
ご本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。



国土交通省大阪航空局案内図

Osaka Metro
谷町線・中央線
「谷町四丁目」駅
1-B出口



大阪航空局までのアクセス

谷町四丁目駅 下車 徒歩 5 分

- ・Osaka Metro 谷町線
- ・Osaka Metro 中央線



大阪航空局
採用サイト